

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.4	運営推進会議では、基本的に施設側の運営状況などの報告が多く、新たな課題や提案が少ない、行政、民生委員の参加はあるが、家族、利用者、地域住民や、地域との関わりに必要な関連の関係者、業種からの参加が少ない。	GH左右山の地域への認知も含め、運営推進会議で利用者、家族や様々な関係業種事業者、地域住民に参加してもらう。	GH左右山が主体となって地域の様々な関係業種の事業所に出向き、関わりを持つ基盤を作る。家族にも参加してもらえるように、事前に手紙等で参加を促す。	12ヶ月
2	No.35	災害対策として、消防の指導にて、防災訓練や備蓄品は備えているが、施設実施の防災訓練等に地域住民の協力、参加がない。	災害時の防災及び避難訓練時に、施設職員と地域住民及び関連事業所とが協力して、対策及び体制作りをする。	地域の防災訓練などへの参加は続けながら、施設実施の防災及び避難訓練に地域住民にも参加してもらうように働きかけていく。また、他事業所との災害時の協力体制を作りながら、地域の関係者へも体制を周知してもらえるような関係性の構築をしていく。	12ヶ月
3	No.10	職員と家族との関わりや意見交換等はあるが、認知症高齢者の利用者を持つ家族同士の顔合わせや関わり及び意見交換等の機会がない。	施設実施の季節毎の行事など、利用者と家族とが一緒に楽しめる行事などを通じて、家族同士の関わりや意見交換等が出来るようになる。	施設実施の行事などに参加をしてもらうように、施設からの家族への通知や、参加してもらい易い環境作りを行う。(毎月送付している左右山通信に行事予定日時等も記載)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月